

研究課題番号	SⅡ-4-2
研究課題名	PRTR 制度における排出源管理及び環境改善把握の支援ツールの開発
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	横浜国立大学
研究代表者名	亀屋 隆志

1. 委員の指摘及び提言概要

PRTR 情報の活用と実際のデータの整合に関して、戦略的な検討を行っており、実際のデータを用いて評価が行われたことは高く評価できる。特に簡易濃度推計ツールの改修とツールマニュアルの作成により PRTR の活用の全体像が明らかとなってきたことは高く評価できる。研究成果は直接的に化学物質管理行政に活用できる。

事業者の理解度に応じて、自主管理を支援する簡易リスク評価シート、簡易濃度推計ツールは PRTR データの活用をさらに促進する有用な成果であり、今後の普及が期待される。今後、様々な条件（化学物質、時期、場所など）下で有用性が検証され、実際に活用されることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S